

楽しかったね!サマースクール

松山聾学校の夏のイベントであるサマースクールが、今年も8月1日に行われました。本校の子どもたちと、地域の幼稚園や小学校中学校で学ぶ子ども達が、一緒に活動を楽しんだり体験学習を行ったりして有意義な時間を過ごすことができました。

親子遊びや集団遊びを楽しんだ小学部

毎年恒例となったサマースクール。今年は、本校から9名、他校から12名と、年々多くの子どもたちが参加してくれるようになりました。

まず、オリエンテーションの自己紹介では、緊張した面持ちだった子どもたちも、次のグループでの質問タイムでは、5～6年生を中心に、好きな勉強や好きな食べ物などの情報交換をし、少しずつうち解け始めました。コミュニケーション手段が違う子どもたちですが、なんとか伝わる方法を考え、自分たちの力でコミュニケーションを取ることができました。



それから、グループ対抗のゲーム遊びでは、背中に文字を書いて伝える伝言ゲームをしたり、言葉集めゲームをしたり、お絵かきをしたり、グループ内で協力しながら、楽しんで活動することができました。

最後には、感想も元気よく発表することができ、また来年の再会を約束して終了しました。



そして、遊びの活動の中では、親子で御神輿を運ぶリレーをしたり、いくつかの鬼ごっこをしたりしながら、思いっきり体を動かして遊びました。



水遊び・スイカ割り・かき氷・・・夏満喫の幼稚部

幼稚部のサマースクールには、21名の子どもさんが参加してくれました。
みんなで水着に着替えたあと、準備体操を兼ねてダンスをしました♪



「水遊び」では、おもちゃや水てっぼうで遊んだり、すべり台をすべったりして遊びました。みんなで一緒に楽しく遊べましたね。

「スイカ割り」では、みんな力いっぱいスイカをたたくことができましたね。目かくしを怖がらずにできたお友だちがいっぱいびっくりしました。



みんなでいっしょに食べたスイカは、あまくてとてもおいしかったですね。
たくさん食べたお友だちもいました♪

「かき氷やさんごっこ」で食べたかき氷も、とてもつめたくておいしかったですね。

秋には幼児体験学習や文化祭、冬にはウインタースクールがあります。

また、みんなで集まって楽しく活動しようね。



ちなみに、今年サマースクールは、幼稚部、小学部、中学部、高等部合わせて本校から37名、地域の園や学校等から17名、計54名が参加しました。

「出張講座」で共に将来を考えた中学部・高等部

中学部・高等部では、昨年度に引き続き、市内の専門学校の出張講座を行い、校内外の中高生と一緒に講座を受講し、体験活動を通して交流を深めました。

出張講座に来ていただいたのは、河原学園の「河原デザインアート専門学校」と「河原ビューティーモード専門学校」の2校です。今年度から中学部の生徒も参加するようになりました。

生徒は、2つのグループに分かれ、それぞれ1時間程度、専門学校の実習内容を体験しました。

実施後行ったアンケートには、参加した約半数の生徒が「将来の進路について考えたかった」とし、意識の高さが伺えました。そして、今回のサマースクールは、9割以上の生徒が「良かった」と答えていました。また、マンガやデザインアート、エクステの実習等が好評でした。

来年度は、また別の違った体験ができるよう企画したいと考えています。



【 御 報 告 】

以前本校の皆さんがお世話になり、現在みなら特別支援学校でお仕事をされている T 先生から、補聴器を寄贈していただきました。貸出用として大切に使用させていただきます。T 先生、ありがとうございました。



公開講座の御報告

今年度も8月16日（金）に、「公開講座」として聴覚障害教育を初めとした特別支援教育に関わる方々対象の研修会を行いました。本校の教員が講師となり、「幼児期における言葉の指導」、「小学部の指導について」、「中・高生の指導について」、「聴覚障害の基礎知識」、「ろう者としての歩み～デフリンピックに参加して～」 「発音発語指導 初級」 「発音発語指導 中～上級」の講座を開講しました。

校外からは、県下の小・中学校、各地域の発達支援センターなどの先生方54名の参加がありました。校外から参加される先生が年々増加しています。参加された先生方からは、「具体的で事例が多い講義で分かりやすかった。今日の講座を聞いて子どもへの配慮の仕方が大きく変わるきっかけとなりました。」「実際にどのように指導、支援したらよいかよく分かりました。」等の感想が聞かれました。

今後も聾学校の専門性を生かし、聴覚障害のある子どもたちへの支援方法を発信していきたいと思えます。

【本の紹介・その1】

仕事・無音

聴覚障害者の社会参加と貢献の実態レポート

岡山県立岡山聾学校同窓会 発行
森格・齋藤昌久 編著 定価：1500 円
古今社

岡山県立岡山聾学校の卒業生の様々な生き方、社会参加の様子を取材したレポートです。

岡山校の卒業生は、約1500人とのこと。この本では、スポーツや芸術で活躍する卒業生や、企業や理容等の多方面で活躍する卒業生が紹介されています。ろう者としての社会参加は、本当にいろいろな「形」があるということに、改めて気付かされます。



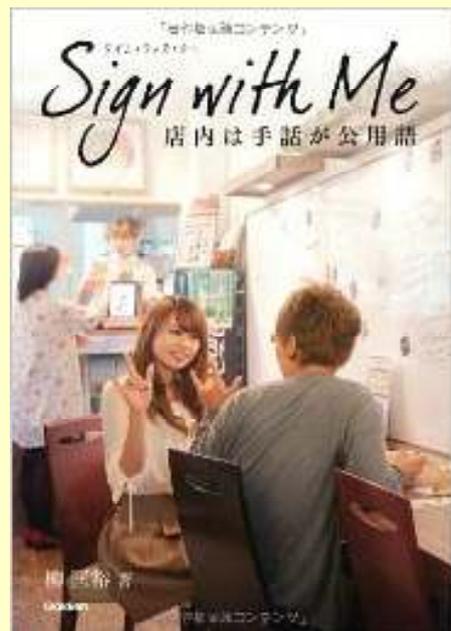
【本の紹介・その2】

Sign with Me

店内は手話が公用語

柳匡裕 著 定価：1365 円
学研教育出版

ろう者のオーナーである著者が、手話カフェ「Social Cafe Sign with Me」の立ち上げにまつわる様々な話を綴った本です。障害者の就労の厳しい現実、開業後に目指した店作り、障害者が自尊心をもてる社会の実現等、著者の経験や想いが語られています。「耳が聞こえないから、接客は無理」は本当なのか？



※ホームページ <http://signwithme.in/> やツイッター、フェイスブックもあります。

編集後記

「みみちゃん」第55号をお届けいたします。本校では、特別支援教育のセンター的役割を果たすべく様々な事業を行っています。御紹介した夏のサマースクールと公開講座は、松聾の夏の恒例事業になりつつあります。御参加いただいた皆様ありがとうございました。また来年もお越しくください。